

## (仮称) 小平市こども計画構成 (案)

## 1 「(仮称) 小平市こども計画」構成 (案)

## 第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の背景と趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の対象
- 5 計画の策定体制

## 第2章 小平市のこども・若者を取り巻く現状と課題

- 1 現状
  - (1) 統計・調査結果から見える小平市のこども・若者の現状  
統計資料、こども・若者の意識・実態調査
  - (2) こども・若者、子育て当事者からの意見
- 2 小平市子ども・若者計画の総括と課題

## 第3章 計画の基本理念・基本目標

- 1 基本理念
- 2 基本的な視点
- 3 基本目標
- 4 計画の体系

## 第4章 施策の展開

基本目標1：(こども・若者) すべてのこども・若者の健やかな成長と自立を支える

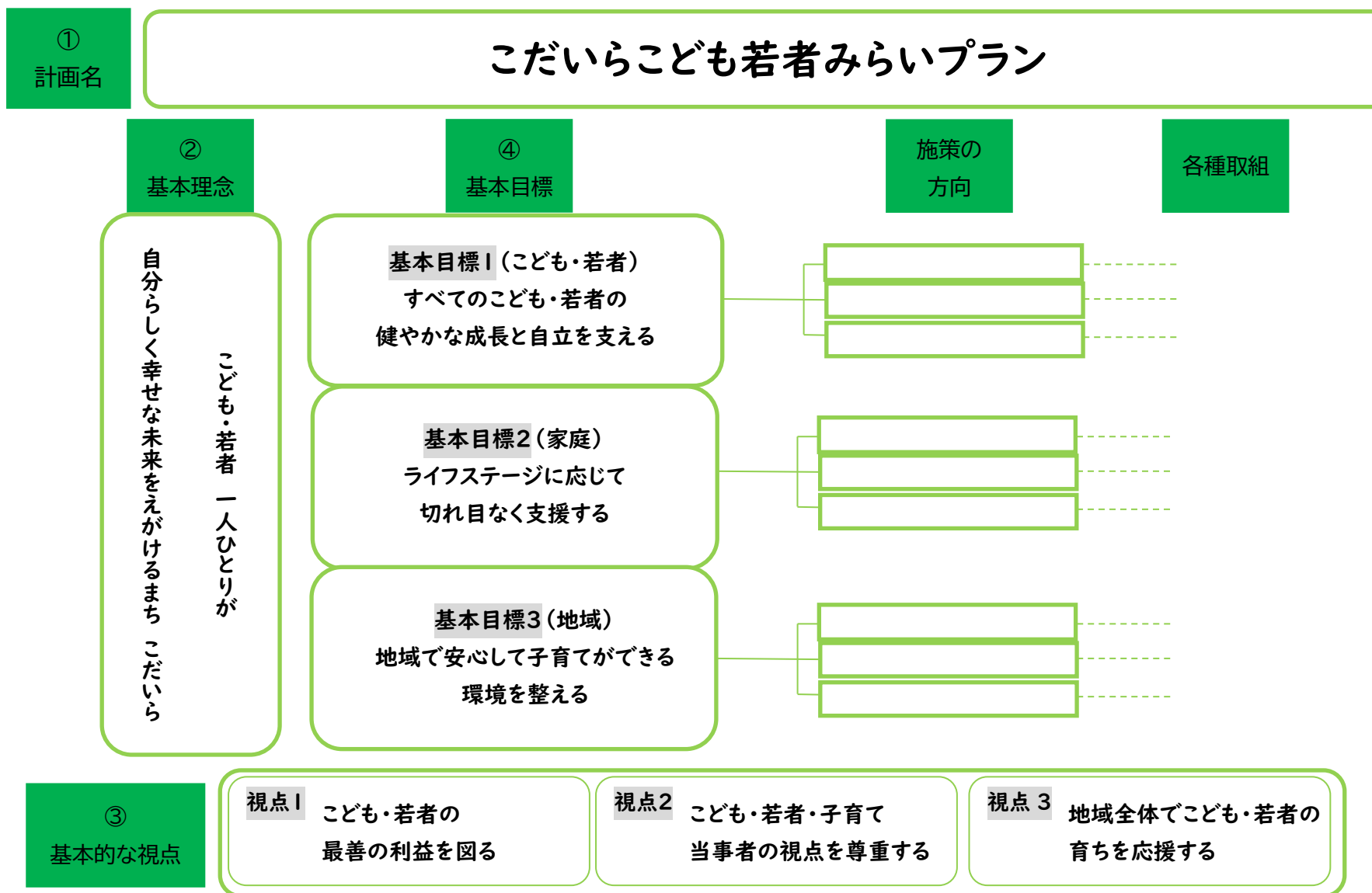
基本目標2：(家庭) ライフステージに応じて切れ目なく支援する

基本目標3：(地域) 地域で安心して子育てができる環境を整える

## 第5章 計画の推進体制

- 1 推進体制
- 2 計画の達成状況の点検及び評価

## 2 体系（案）



### 3 体系案

#### ① 計画名

##### **こだいらこども若者みらいプラン**

〈設定理由〉

対象者がこども・若者であることを明確にし、将来を見据えた市の取組をとりまとめた計画であること、親しみやすさを考慮

#### ② 基本理念

##### **こども・若者 一人ひとりが 自分らしく幸せな未来をえがけるまち こだいら**

〈設定理由〉

- ・こども基本法の目的、こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」を反映
- ・教育計画の基本理念「学び・体験を通じて お互いに認め合い 励まし合い 共に生きるまち小平」を考慮

#### ③ 基本的な視点

##### **視点1 こども・若者の最善の利益を図る**

〈説明〉

こども・若者と子育て当事者の視点を尊重し、最善の利益の実現を図るとともに、こども・若者の自己実現を後押しします。

〈設定理由〉

- ・こども大綱の基本的な方針に「①こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る」とある
- ・障害、疾病、虐待、貧困、外国にルーツがある、他配慮が必要など困難な状況にあるこども若者やその家庭を守ることが重要である
- ・こども大綱の基本的な方針に「② こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく」とある
- ・子どもの権利条約の4原則を一番反映した視点となる

##### **視点2 こども・若者・子育て当事者の視点を尊重する**

〈説明〉

こども・若者と子育て当事者が安心して生活できるよう、それぞれの状況に応じて必要な支援を切れ目なく行い、十分に支援します。

〈設定理由〉

- ・こども大綱の基本的な方針に「③ こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する」とあるため反映
- ・「自治体こども計画策定のためのガイドライン」で、ライフステージ別の重要事項をカバーできるようにと説明あり
- ・こども若者が自立できるようになるまでの必要な支援を年齢等の理由で途切れな

いようにすることが重要

### **視点3 地域全体でこども・若者の育ちを応援する**

〈説明〉

行政をはじめとして関係機関・団体、事業者など地域の多様な主体が相互に協力し、こども・若者が自立して社会生活を送ることができるようになるまで地域全体で支えます。

〈設定理由〉

- ・こども計画においても、地域でこども若者に関わる主体が協力して相互に補完・連携することが重要であるため、現行計画と同様の視点を設定
- ・長期総合計画 基本目標Ⅰひとづくりの目指す方向性より  
「くらしもまちもひとがつくっていくものであり、ひとづくりがまちにとって一番大切な観点となります。・・・(中略)・・・地域社会を担い、将来にわたって多様に活躍できる人づくりをめざします。」

#### **④ 基本目標**

##### **基本目標1(こども・若者)すべてのこども・若者の健やかな成長と自立を支える**

〈設定理由〉※この中にこどもの権利尊重が入るイメージ

- ・こども・若者の最善の利益を図る視点に立った施策・事業を推進することが重要
- ・こども基本法やこども大綱でも、こども自身の主体性を重視している

##### **基本目標2(家庭)ライフステージに応じて切れ目なく支援する**

〈設定理由〉※ライフステージごとの施策はこちらに入るイメージ

- ・こども若者の心身の健康も重要であり、発達や成長に応じた切れ目ない支援が必要
- ・自己肯定感を高めて成長できるような環境の整備も重要

##### **基本目標3(地域)地域で安心して子育てができる環境を整える**

〈設定理由〉

- ・家庭、地域、学校、行政をはじめ地域社会全体でこども若者を支える必要がある